

地下水採取量報告書

平成16年4月15日

(あて先) 札幌市長

報告者 住所 〒000-0001 *1
 中央区北〇条西×丁目1-2
 氏名 株式会社〇×ビルディング
 代表取締役社長 札幌 太郎
 (法人にあつては氏名及び代表者の氏名)
 電話番号 123-4567

札幌市生活環境の確保に関する条例第114条の規定により、平成15年度の地下水の採取量について、次のとおり報告します。

揚水施設の設置の場所	設置されている建物等の名称	〇×ビルディング *3		
	所在地	中央区北〇条西×丁目1-2 *4		
井戸番号	*5 NO.1	NO.2	還元井	
4月	*6 677 m ³	718 m ³	1 m ³	
5月	662 m ³	568 m ³	114 m ³	
6月	929 m ³	1125 m ³	312 m ³	
7月	1099 m ³	907 m ³	428 m ³	
8月	1367 m ³	1222 m ³	429 m ³	
9月	718 m ³	802 m ³	54 m ³	
10月	584 m ³	618 m ³	0 m ³	
11月	903 m ³	860 m ³	0 m ³	
12月	643 m ³	754 m ³	0 m ³	
1月	918 m ³	828 m ³	0 m ³	
2月	569 m ³	646 m ³	0 m ³	
3月	670 m ³	817 m ³	0 m ³	
合計 (m ³)	*7 9739 m ³	9865 m ³	1,538 m ³	
届出水量m ³ (A)		採取水量m ³ (B)		還元水量m ³ (C)
*8 22,553		19,604		1,338
差引水量差m ³ (A-B)				
*8 2,949				
担当者及び連絡先	中央区北△条西◇丁目3-4 株式会社〇×設備工業 山川 海子 電話番号 987-6543 *9			

注1 届出水量には、揚水施設設置（仕様・変更）届によって届け出た地下水の使用水量の年間使用量の合計を記入してください。

2 採取水量には、各井戸（還元井を除く。）の合計水量を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた様式を使用することができる。

地下水採取量報告書の記載要領と記載例
(様式25、条例114条)

* 1 届出者

原則として、個人営業の場合は事業主の氏名、住所及び電話番号を、法人の場合は法人の名称、代表者の氏名、住所及び電話番号を記載してください。

* 2 報告年度

地下水採取行為が行われていた年度を記載してください。

* 3 設置されている建物等の名称

揚水施設を設置しているビル・建物の名前を記入してください。

* 4 所在地

揚水施設を設置しているビル・建物の住所を、区から枝番まで記入してください。

* 5 井戸番号

届出している井戸の番号を全て記入してください。還元井を設置している場合は、還元井と記入してください。

* 6 月ごとの地下水採取量及び還元水量

井戸別に月ごとの地下水採取量を記載してください。還元井の場合は、水量測定器で測定された見かけ上の還元水量から、オーバーフローによる放流量を除いた値を記載してください。

* 7 地下水採取量合計

月ごとの地下水採取量もしくは還元水量を合計し、井戸別の年間地下水採取量を算出してください。

* 8 届出水量等

(1) 届出水量

届出上の年間地下水採取量合計を記載してください。具体的には、様式22の別紙2「地下水の用途及び使用水量」における年間使用水量の合計を記載してください。

(2) 採取水量

当該報告年度について、全ての井戸の年間地下水採取量を合計したものを記載してください。

(3) 還元水量

当該報告年度について、全ての還元井の年間還元水量の合計を記載してください。

(4) 差引水量差

届出水量から採取水量を引いたものを記載してください。

* 9 担当者及び連絡先

当該報告について、札幌市側からの、質問等の窓口となる担当者名及び連絡先を記載してください。なお、この部分については、記入する義務はありませんが、事務処理の円滑化のために、記入するようお願いします。